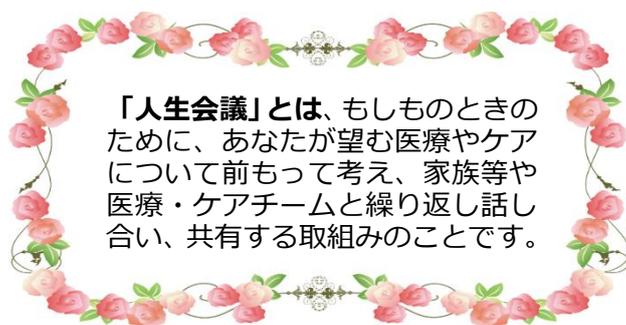


最期をご自宅で静かに迎えるために

人生の終わりが近づいたのを悟り、『最期』の最後まで、愛着のある自宅で過ごしたい……そのように望む人が増えています。しかし実際には、今際の際に家族が動転して救急車を呼んでしまい、「生前には望んでいなかった心肺蘇生や延命処置をされてしまった」という不幸な出来事が起っています。どうすれば望み通り、最期を自宅で迎えることが出来るのでしょうか？

▼ステップ1. 「人生会議」について考える

- ・「最期を自宅で迎えるとはどういうことか？」
「延命処置にはどのようなものがあるのか？」など、ご自身と家族が理解する。



▼ステップ2. 主治医（かかりつけ医）と相談する

- ・気軽に相談でき、普段の様子を知っている主治医（かかりつけ医）を作り、死生観を共有する。
- ・主治医（かかりつけ医）とよく話し合った結果、最期を自宅で迎えると決めた場合は、具体的に緊急時の連絡先、連絡のタイミング、往診までの時間や段取りなど決める。

▼ステップ3. 「私の意思書および医療機関同意書」（裏面）を書く

- ・取り決めた内容を裏面の「私の意思書および医療機関同意書」に記入し、分かりやすい場所に保管する。名古屋市医師会の「はち丸ネットワーク」に登録すると、医療・ケアチームと情報共有が可能なためお奨めです。なお、主治医（かかりつけ医）がはち丸ネットワークに登録している場合は、この「私の意思書および医療機関同意書」情報を共有しますので、ご承知おきください。

▼ステップ4. 救急車を呼ぶのではなく、主治医（かかりつけ医）に連絡する

- ・終末期が近づくと、はた目には苦しそうに見えることがありますが、落ち着いて、救急車を呼ぶのではなく、主治医（かかりつけ医）に連絡する。

もしも 119 番してしまったら・・・



「私の意思書および医療機関同意書」を準備し、主治医（かかりつけ医）に連絡する。

救急隊は救命処置をするのが使命です。余程のことがない限り、救命処置を止めることはできません。救急車が到着するまでの間に主治医（かかりつけ医）に連絡が付いて、救急隊が延命処置中止の指示を受けられれば、望まれてない心肺蘇生を避けることが出来ます。



▼ステップ5. 主治医（かかりつけ医）を待つ

- ・主治医（かかりつけ医）が来るまでの間、静かに最後のお別れの時間を過ごす。

私の意思書および医療機関同意書

お名前： _____

生年月日：西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日（ _____ 歳）

▼私は延命処置（心肺蘇生、救急搬送など）を…

 望みます

希望搬送先医療機関名： _____

希望搬送医療機関連絡先： _____

※救急搬送の場合は、速やかに救命の対応ができる医療機関を救急隊が選定しますので、
希望に添えない場合があります。

 望みません 心肺蘇生をせず、下記の主治医に連絡してください

主治医： _____

医療機関連絡先： _____

緊急連絡先： _____

住 所：〒 _____

医療機関名： _____

以上の意思書に変わりはないことを認めます。

西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日 本人署名（自筆） _____

又は代筆者署名 _____（続柄 _____）

キーパーソン _____（続柄 _____）

※ この内容は現時点での意思の確認であり、状況に合わせて、いつでも変更することができます。遠慮なくご相談ください。